

漁海況速報

No.1

平成16年1月14日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の波及は本県沖にはみられないが、北緯38度付近まで南下してきている。
- ②黒潮系暖水の勢力は前週並みで弱い。本県沖の水温は先週より降温し、広く14~15℃に覆われている。
- ③定地水温は、小名浜は平年並み、大熊は2℃低め、松川浦では平年より1℃高め。

見通し(1週間)

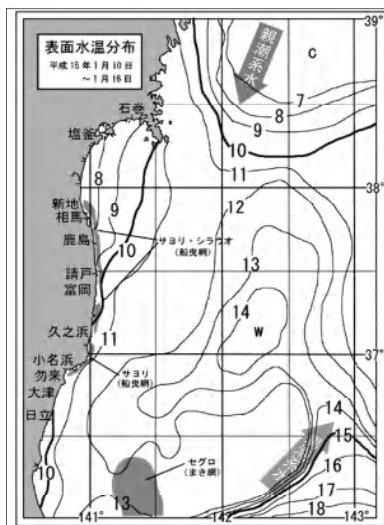
- ・親潮系冷水の波及がみられ、表面では降温が進むでしょう。

あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いいたします。

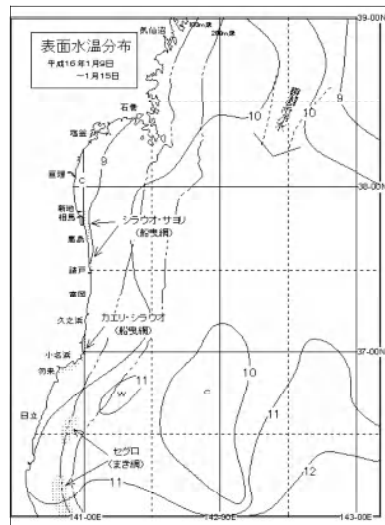
「漁海況速報」について

- ・海況図について: 表面水温データは、原則として発行日前一週間分の船舶による実測水温(航走)を用いていますが、実測水温が少ない場合は人工衛星による水温値を参考にしています。
- ・定地水温について: 小名浜…みさき公園下取水(午前9時)、大熊…福島第一原発取水口からの揚水を計測(午前9時)、松川浦…湾口部の表面を計測(午前10時)、広野沖…広野地先約40kmの水深5mで測定(午前7時)
- ・漁況概況について: データ期間…原則として、発行日前週の木曜日~翌週水曜日までです。整理方法…各漁協について漁法ごとに集計し、水揚げ金額の多い順に掲載しています。
(ご不明な点は、水試漁業部までお問い合わせください)

平成15年同期



平成16年同期



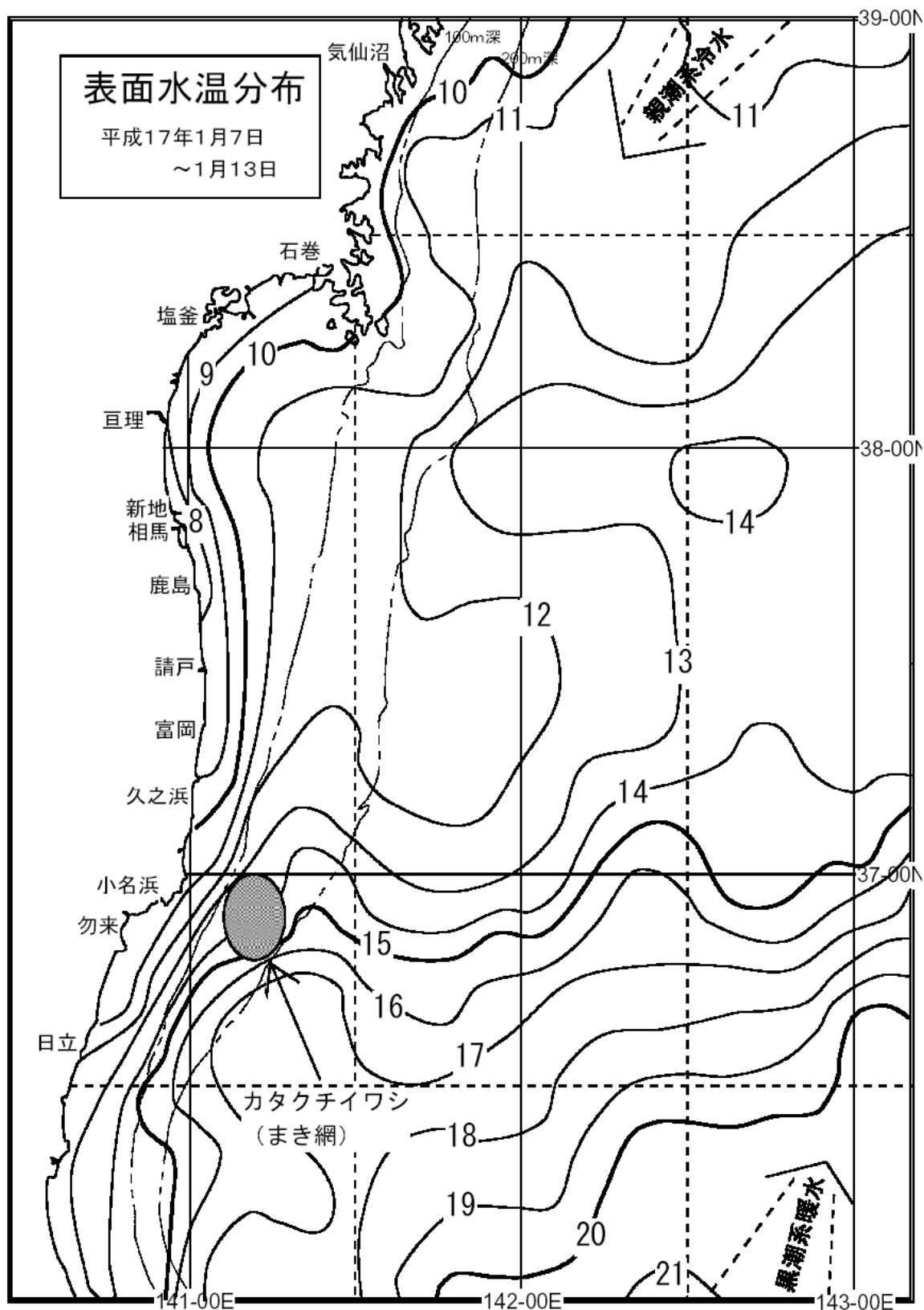
定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
12/17	13.8	12.8	11.3	—
12/20	13.0	13.2	10.4	—
12/21	13.5	12.4	10.8	—
12/22	12.7	11.9	10.4	—
12/23	—	—	—	—

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

表面水温分布

平成17年1月7日
~1月13日



漁海況速報

No.2

平成17年1月21日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

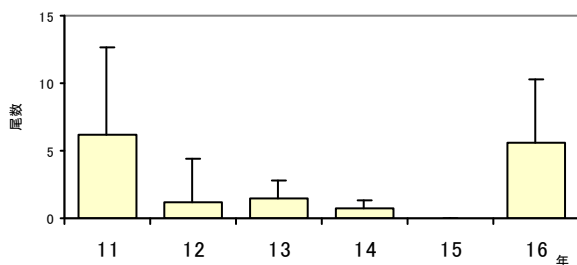
- ①親潮系冷水の勢力は前週並みで本県沖への波及はみられない。
- ②黒潮系暖水の勢力は前週並みで弱い。本県沖の水温は先週より降温し、広く10~11℃に覆われている。
- ③定地水温は、小名浜は1℃低く、大熊は2℃低め、松川浦では平年並み。

見通し(1週間)

- ・親潮系冷水の波及がみられ、表面では降温が進むでしょう。

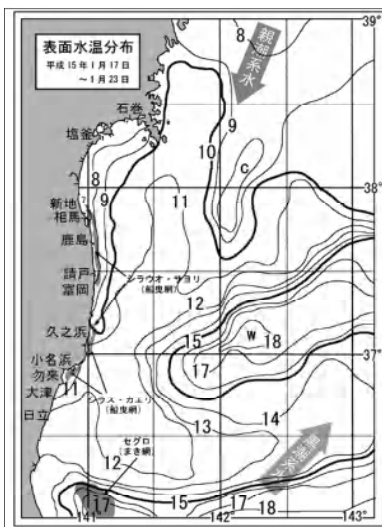
平成16年のヒラメ天然魚の発生量について

ヒラメ天然魚の発生量は年によって大きく変動します。8月~10月にかけて調査を行ったところ、平成16年のヒラメ発生量は平成12年以降では最も多いと推定されました。ヒラメの発生量は年によって大きく変動し、平成6、7年には卓越年級(平年の数十倍)の発生が確認されました。平成16年は平年の3倍程度とみられますが、減少傾向にあるヒラメの漁獲量の増加につながることを期待されます。

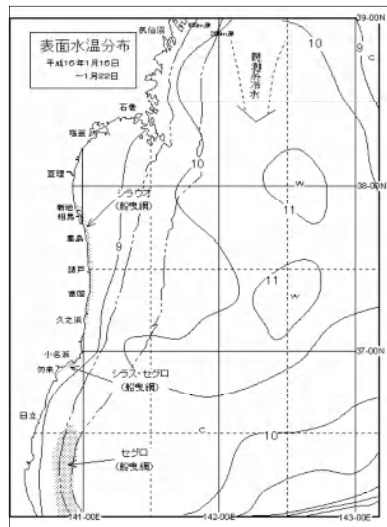


請戸における8月・9月の自家用釣餌板びき網30分あたりのヒラメ天然当産魚の採集平均個体数(上部細棒は標準偏差)

平成15年同期



平成16年同期



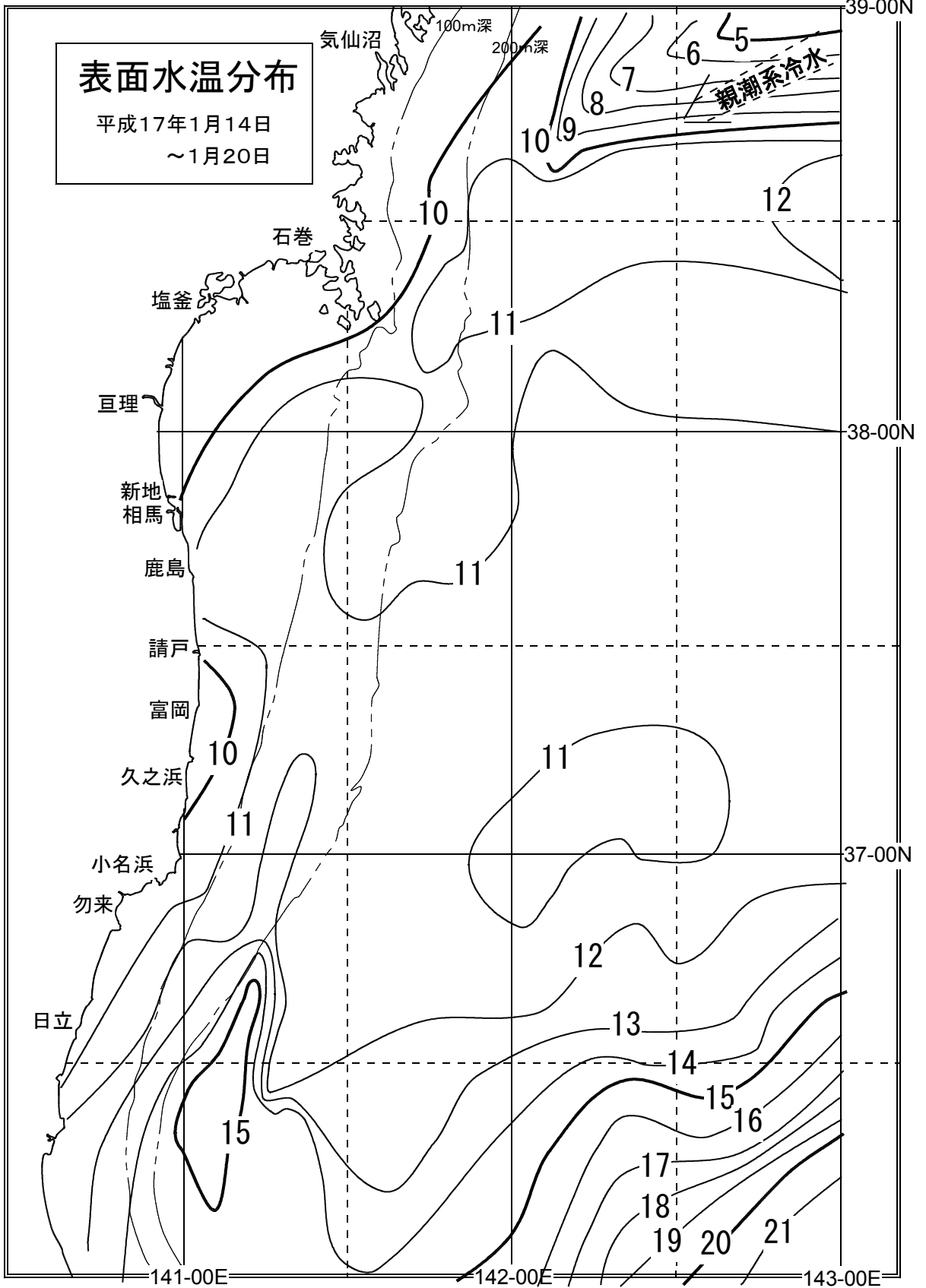
定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
1/14	10.1	8.5	7.6	11.2
1/17	10.6	7.7	6.1	10.1
1/18	10.2	8.2	7.8	10.5
1/19	9.6	8.1	7.9	10.0
1/20	10.1	8.3	8.4	11.1

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

表面水温分布

平成17年1月14日
~1月20日



漁海況速報

No.3

平成17年1月28日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ① 親潮系冷水は前週より南下し、相馬沖80海里付近には7~8℃台がみられる。
- ② 黒潮系暖水の勢力は前週並みで弱い。本県沖の水温は先週より降温し、広く9~10℃に覆われている。
- ③ 定地水温は、小名浜・松川浦では平年並み、大熊は平年より1℃低い。

見通し(1週間)

- ・ 親潮系冷水の波及がみられ、表面では降温が進むでしょう。

平成17年1月海洋観測結果

- ・ 1月24日~26日にいわき丸で行ないました海洋観測結果をお知らせします。
- ・ 観測された水温の定線ごとの平均値と前年差、平年差は以下のとおりです。

(単位:℃)		観測値	前年差	平年差
表面	塩屋	10.34	0.29	-2.66
	富岡	9.73	0.03	-2.45
	鵜ノ尾	9.33	0.33	-0.78
100m深	塩屋	9.93	-0.09	-1.77
	富岡	9.49	-0.49	-2.06
	鵜ノ尾	8.67	-1.18	-1.79

(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

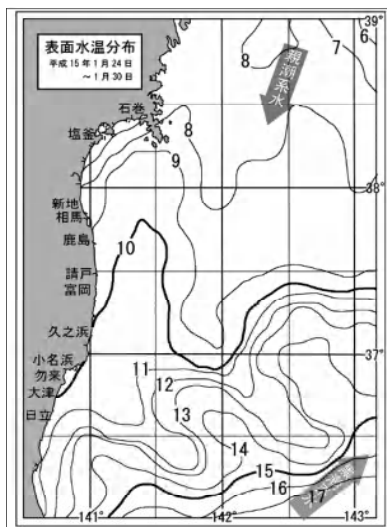
- ・ 水温は表面では塩屋・富岡で低め~やや低め、鵜ノ尾では平年並みで、100m深では各定線ともに平年よりやや低めでした。黒潮系暖水の勢力が弱く、全域で鉛直混合の進んだ単調な水塊分布となっていました。

定地・定点水温の推移(℃)

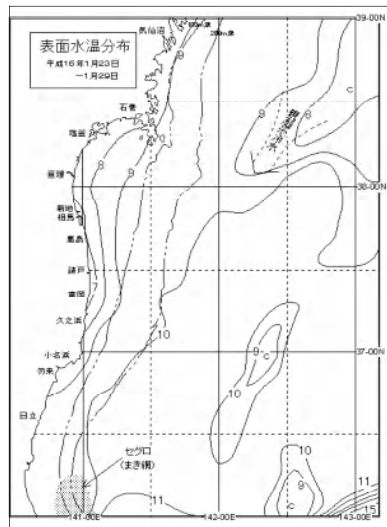
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
1/21	10.2	8.6	8.2	10.4
1/24	9.9	8.0	5.7	9.6
1/25	10.1	8.4	7.1	9.8
1/26	9.8	8.3	7.2	9.8
1/27	9.6	8.1	6.9	9.9

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

平成15年同期

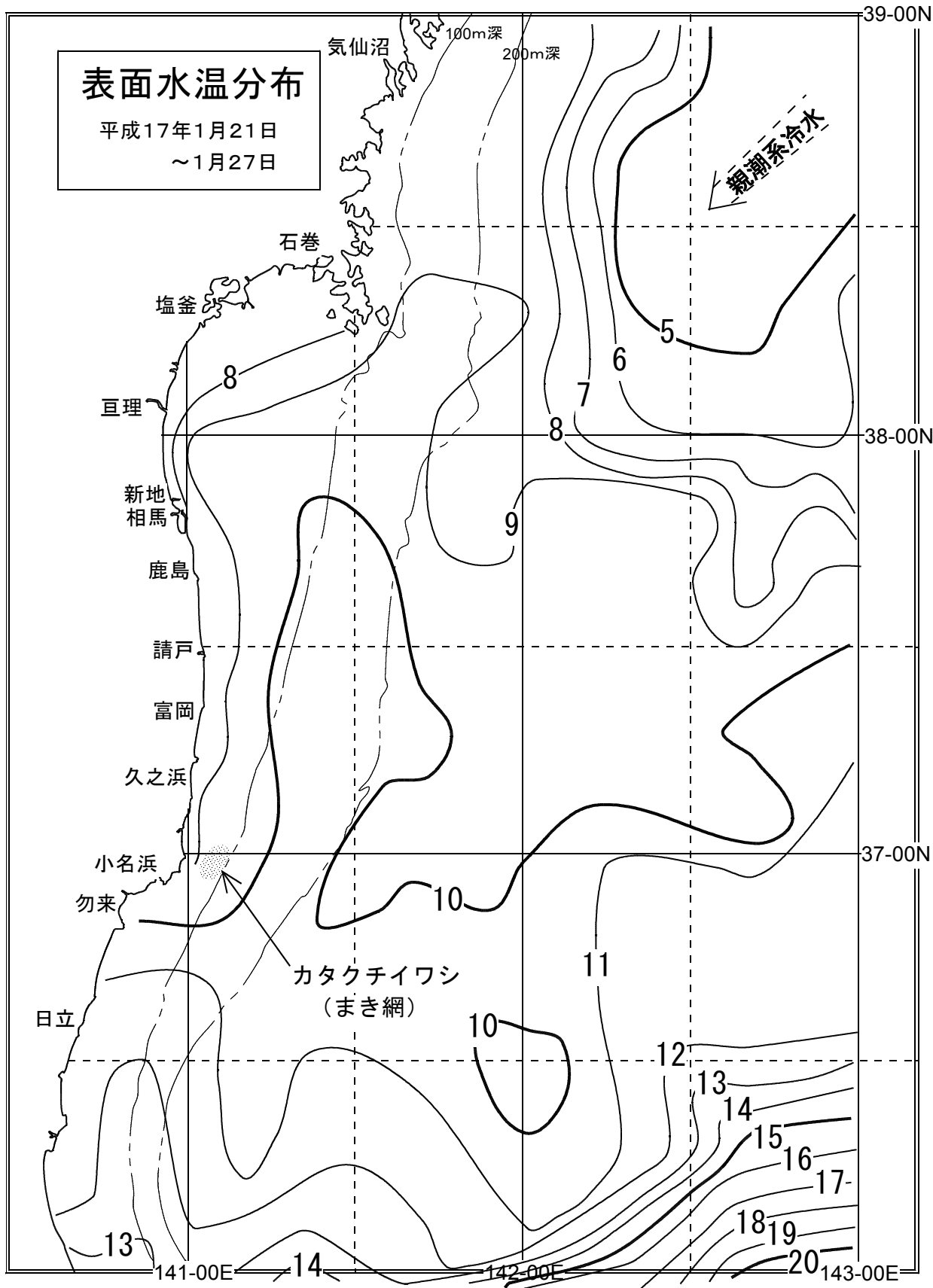


平成16年同期



表面水温分布

平成17年1月21日
～1月27日



漁海況速報

No.4

平成17年2月4日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の勢力は強まり、富岡沖70海里付近まで4℃台の水塊が南下した。
- ②本県沖20海里付近には南からの黒潮系暖水の波及がみられるが、勢力は弱く、本県沖30海里より灘側は7~10℃台となっている。
- ③定地水温は、小名浜・大熊では1℃低め、松川浦は平年並み。

見通し(1週間)

- ・沖の親潮系冷水の波及は継続しますが、灘側では現状並みの水温で推移するでしょう。

漁況情報(ホッキ貝)

- ・平成16年度漁期(平成16年6月~17年1月)のホッキ水揚げ状況をお知らせします。(数字は水試速報値)
- ・前年漁期と比較すると、県全体計での数量は前年の79%、金額は89%と減少しました。
- ・地区別にみると、全体で減少の中、久ノ浜・請戸では数量・金額ともに前年並み又は1割程度の増加がみられました。

平成16年漁期と平成15年漁期におけるホッキ水揚げ状況

地区名	平成16年漁期		平成15年漁期	
	数量	金額	数量	金額
沼之内	45	12,305	64	15,487
四倉	231	55,640	296	57,733
久之浜	130	26,632	120	23,155
請戸	147	64,620	151	61,794
鹿島	80	30,751	121	41,681
磯部	246	101,796	340	122,480
原釜	94	40,392	141	51,883
県全体計	976	332,718	1,232	374,213

単位:数量トン、金額千円

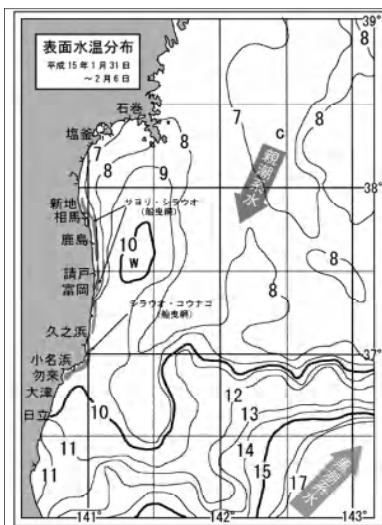
※来週の漁海況速報は2月10日(木)発行となります。

定地・定点水温の推移(℃)

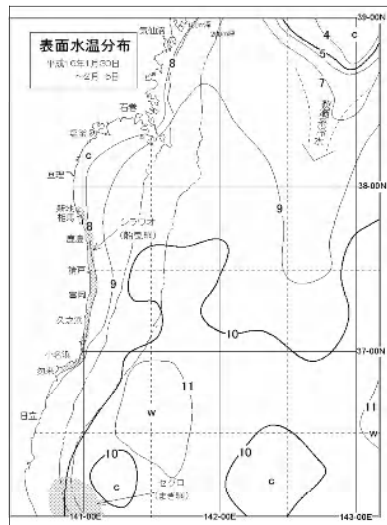
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
1/28	9.5	8.2	7.2	—
1/31	9.2	7.9	7.0	—
2/1	9.5	7.9	6.1	9.5
2/2	9.0	7.6	6.8	9.5
2/3	9.1	7.5	7.1	9.7

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km沖)

平成15年同期

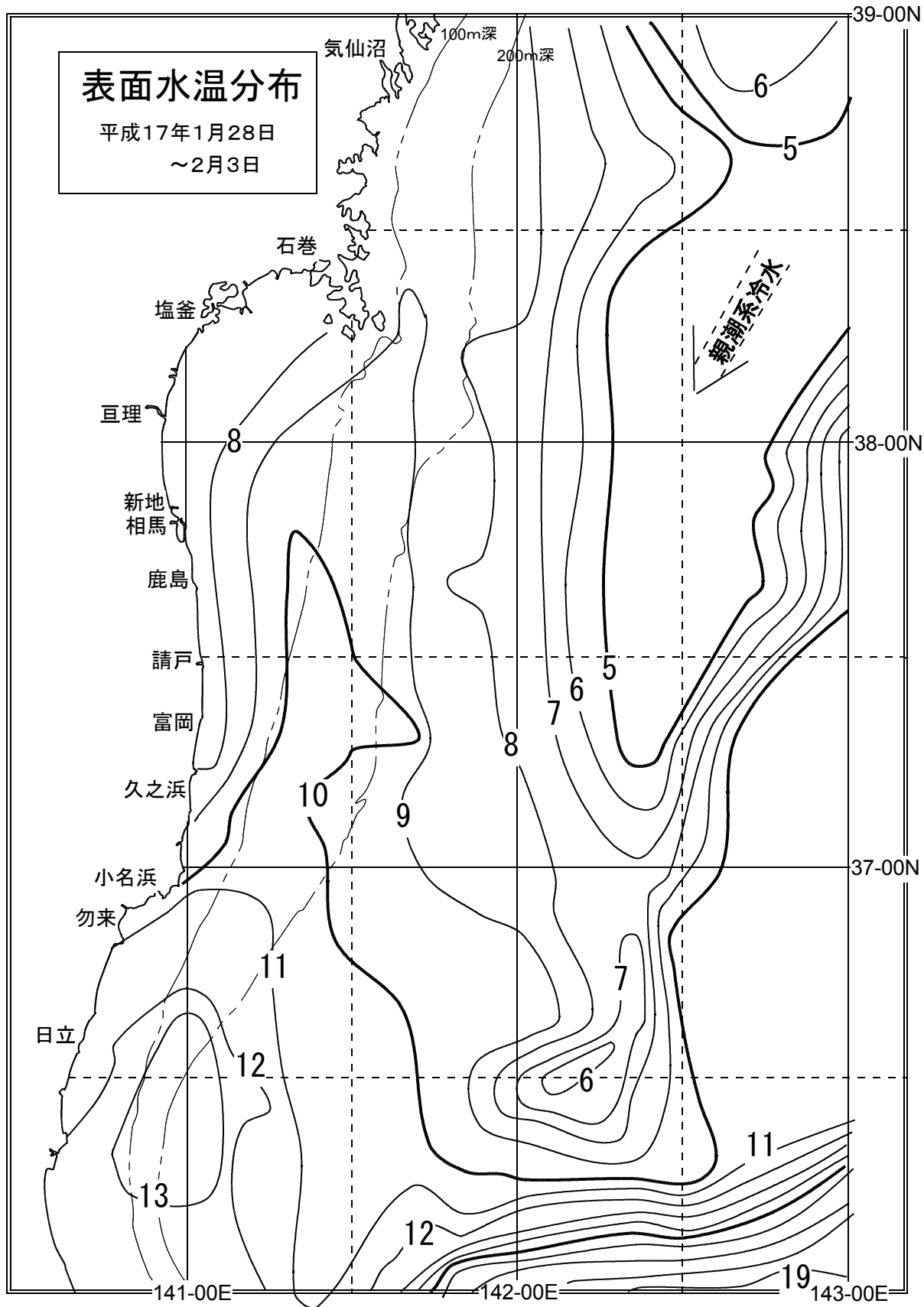


平成16年同期



表面水温分布

平成17年1月28日
~2月3日



漁海況速報

No.5

平成17年2月10日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の本県沖への波及は前週並みで、本県北部海域の距岸75海里付近に3℃台がみられる。
- ②灘側を北上していた黒潮系暖水の勢力は弱まり、本県沖40海里より灘側は広く7~8℃台に覆われている。
- ③定地水温は、小名浜では平年より1℃低め、大熊は2℃低め、松川浦は平年並み。

見通し(1週間)

- ・親潮系冷水の波及は継続し、現状並みの海況で推移するでしょう。

平成17年2月海洋観測結果

- ・2月7日~9日にいわき丸で行ないました海洋観測結果をお知らせします。
- ・観測された水温の定線ごとの平均値と前年差、平年差は以下のとおりです。

(単位:℃)		観測値	前年差	平年差
表面	塩屋	7.81	-0.87	-2.89
	富岡	7.69	-1.00	-1.87
	鵜ノ尾	7.53	-1.00	-0.28
100m深	塩屋	6.08	-1.80	-3.22
	富岡	7.28	-1.38	-1.20
	鵜ノ尾	5.72	-3.04	-2.29

(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

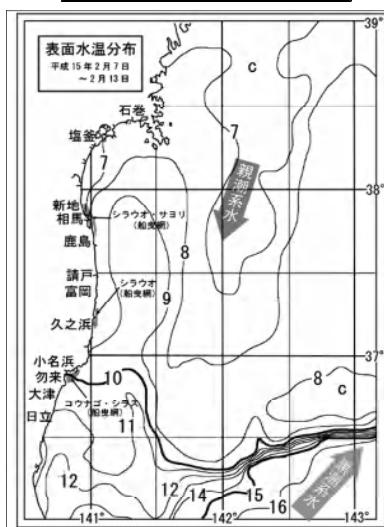
- ・水温は表面では平年並み~低め、100m深では平年よりやや低め~低めでした。
- ・塩屋沖の距岸50海里付近、富岡・鵜ノ尾沖の75海里付近の100m深には3℃台がみられ、それより灘側では概ね鉛直混合の進んだ単調な水塊分布となっていました。

定地・定点水温の推移(℃)

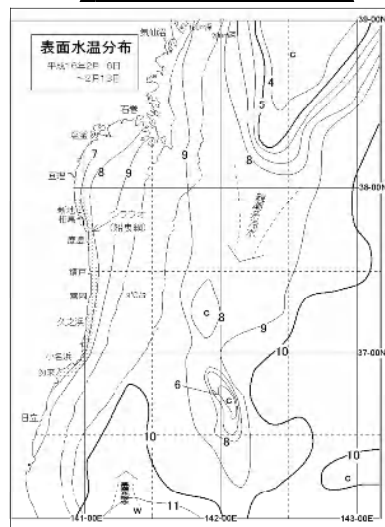
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
2/4	9.0	7.5	7.2	9.6
2/7	8.6	7.0	6.4	8.1
2/8	8.8	7.1	5.1	7.9
2/9	7.8	6.9	6.6	7.9
2/10	8.6	7.2	7.4	7.9

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

平成15年同期

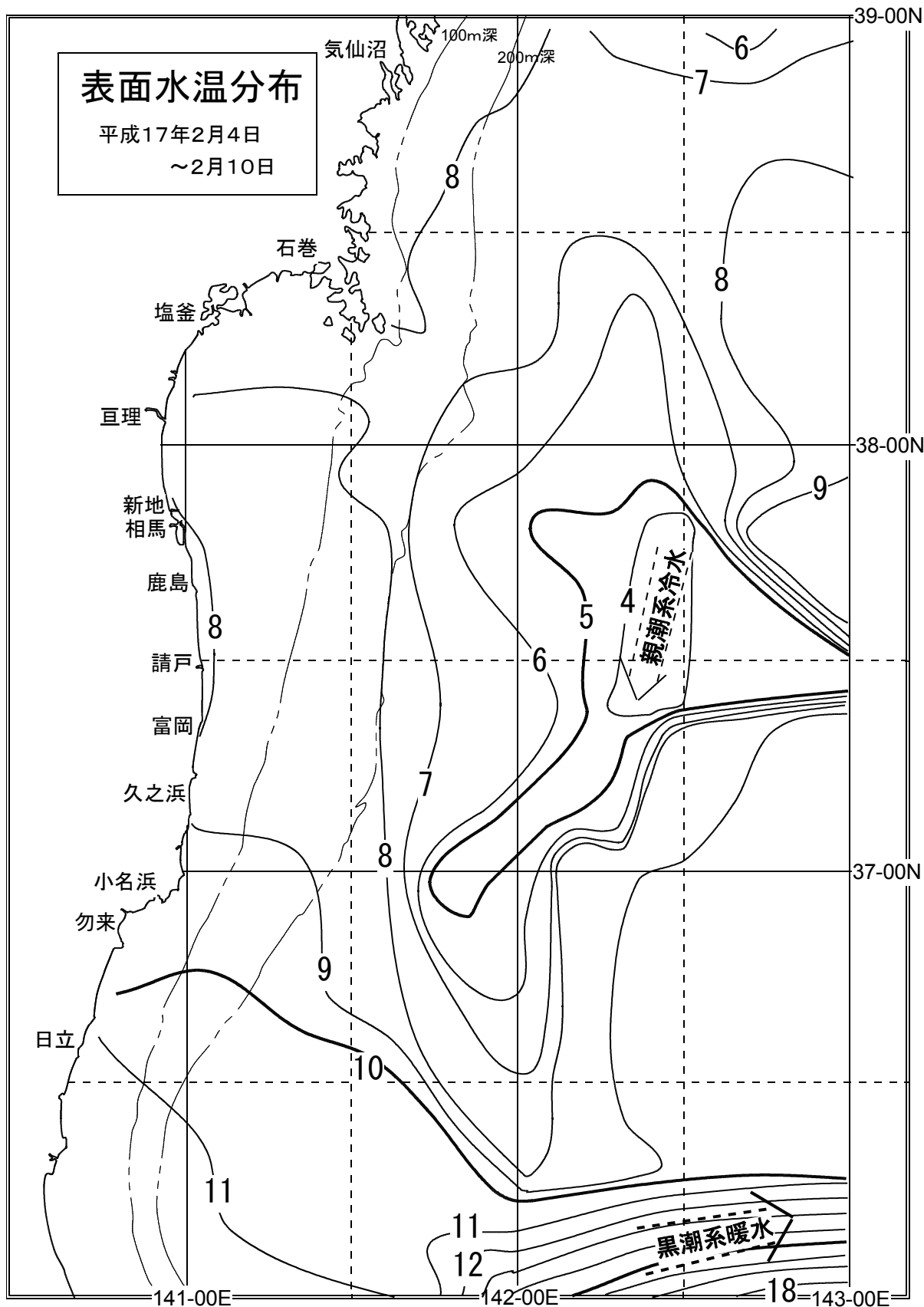


平成16年同期



表面水温分布

平成17年2月4日
~2月10日



漁海況速報

No.6

平成17年2月18日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の勢力は強まり、富岡沖距岸80海里付近に3℃台がみられる。
- ②本県沖は50海里まで広く7～8℃台に覆われている。灘側を北上する黒潮系暖水が茨城県海域にみられる。
- ③定地水温は、小名浜では平年より2℃、大熊では1℃低め、松川浦は平年並み。

見通し(1週間)

- ・親潮系冷水、黒潮系暖水の勢力は強勢を保ち、現状並みの海況で推移するでしょう。

平成17年コウナゴ漁期前調査結果

1月29日～2月7日に鵜ノ尾・真野川・請戸沖にて行なわれましたコウナゴ漁期前調査の結果をお知らせします。

- ・1網当りの採集尾数が最も多かったのは、鵜ノ尾沖6海里の中層で5,840尾、次いで同10海里沖の表層で5,536尾でした。
- ・採取されたコウナゴの大きさは、全長で約5mm程度でした。
- ・合計尾数は鵜ノ尾が22,347尾、真野川が10,581尾、請戸が125尾でした。鵜ノ尾では去年を大幅に上回りましたが、真野川では去年の半分以上となり、請戸ではほとんど入網しませんでした。全体の合計では約33,000尾で、3つの調査海域の平均では11,000尾と昨年比で43.5%となりました。

漁期前調査結果と当年漁期漁獲量の比較

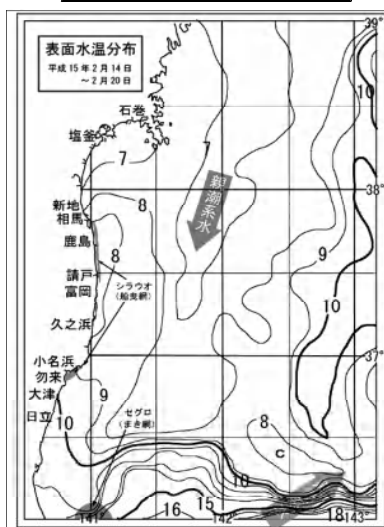
年次	採集尾数 (相双、千尾)	漁獲量(トン)		
		相双	いわき	全県
平成13年	8.7	2,286	712	2,998
平成14年	6.9	1,170	118	1,288
平成15年	23	930	331	1,261
平成16年	25.3	1,893	301	2,194
平成17年	11			

定地・定点水温の推移(℃)

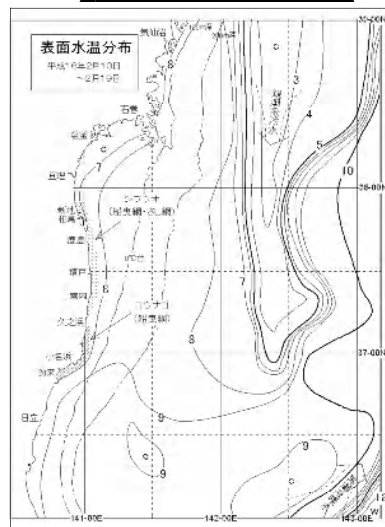
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
2/11	—	—	—	7.2
2/14	8.0	6.8	6.1	6.6
2/15	7.9	7.0	6.5	6.4
2/16	8.3	7.2	6.1	6.3
2/17	7.4	7.2	6.4	6.5

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

平成15年同期

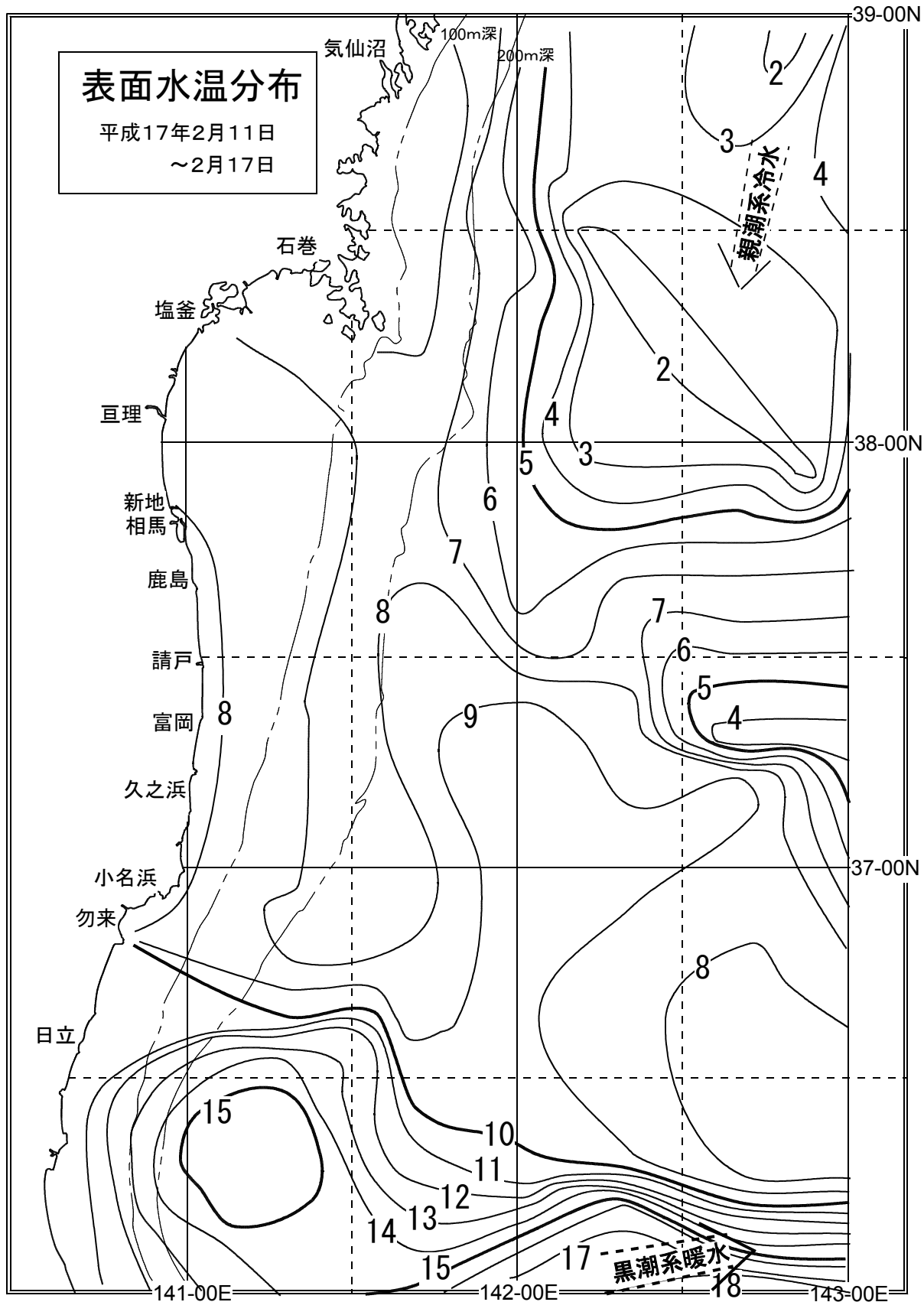


平成16年同期



表面水温分布

平成17年2月11日
~2月17日



漁海況速報

No.7

平成17年2月25日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の勢力は先週より南下し、小名浜・勿来沖距岸20海里付近に3℃台がみられる。
- ②本県沖は先週よりやや降温し、50海里まで広く6~7℃台に覆われている。黒潮系暖水の勢力は弱まった。
- ③定地水温は、小名浜では平年より2℃、大熊は1℃低め、松川浦は平年並み。

見通し(1週間)

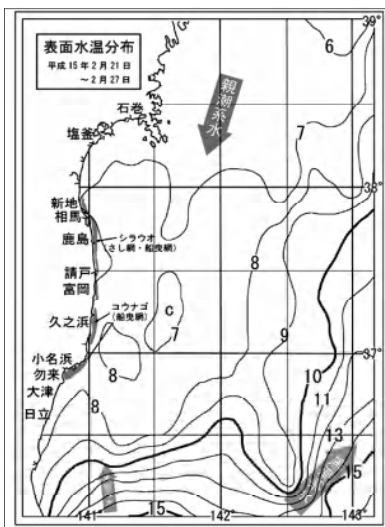
- ・親潮系冷水の断続的な波及がみられ、現状並みの海況で推移するでしょう。

漁況情報(底びき網、主要7港)

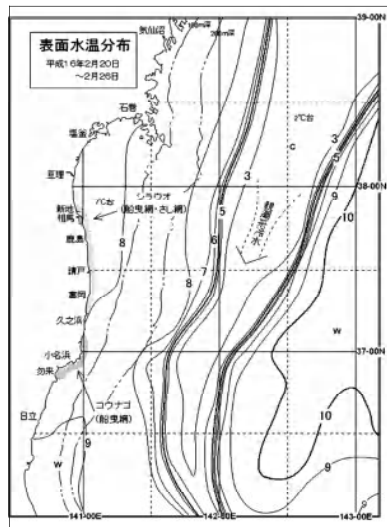
- ・底びき網漁期の半分が経過しましたが、平成16年9月~平成17年1月までの漁模様をお知らせします。
- ・今期の総漁獲量は約4,800トン、金額は約19億円で、前年同期に比べ量的に103%、金額的には104%でした。
- ・漁獲金額では、前年同期のトップはヤナギダコでしたが今期はマガレイとなり、漁獲量も約230トン増加しました。これは、平成14年に生まれたものが多かったためです。
- ・金額トップ10に入ってはいますが、ヤナギダコ、マダラ、ナメタ等は減少しました。

金額上位種の漁獲量対比					
順位	魚種名	金額(百万円) H16年9月 ～H17年1月	漁獲量(トン)		対前年比 (%)
			H16年9月 ～H17年1月	H15年9月 ～H16年1月	
1	マガレイ	255	613	385	159
2	ヤナギダコ	205	947	1,110	85
3	マダラ	128	439	647	68
4	マアナゴ	110	244	186	132
5	ヤリイカ	105	172	61	279
6	キアコウ	95	148	118	125
7	ミズダコ	91	248	211	118
8	ナメタガレイ	91	85	132	65
9	ヤナギムシガレイ	84	51	53	95
10	トラメ	81	77	55	141

平成15年同期



平成16年同期



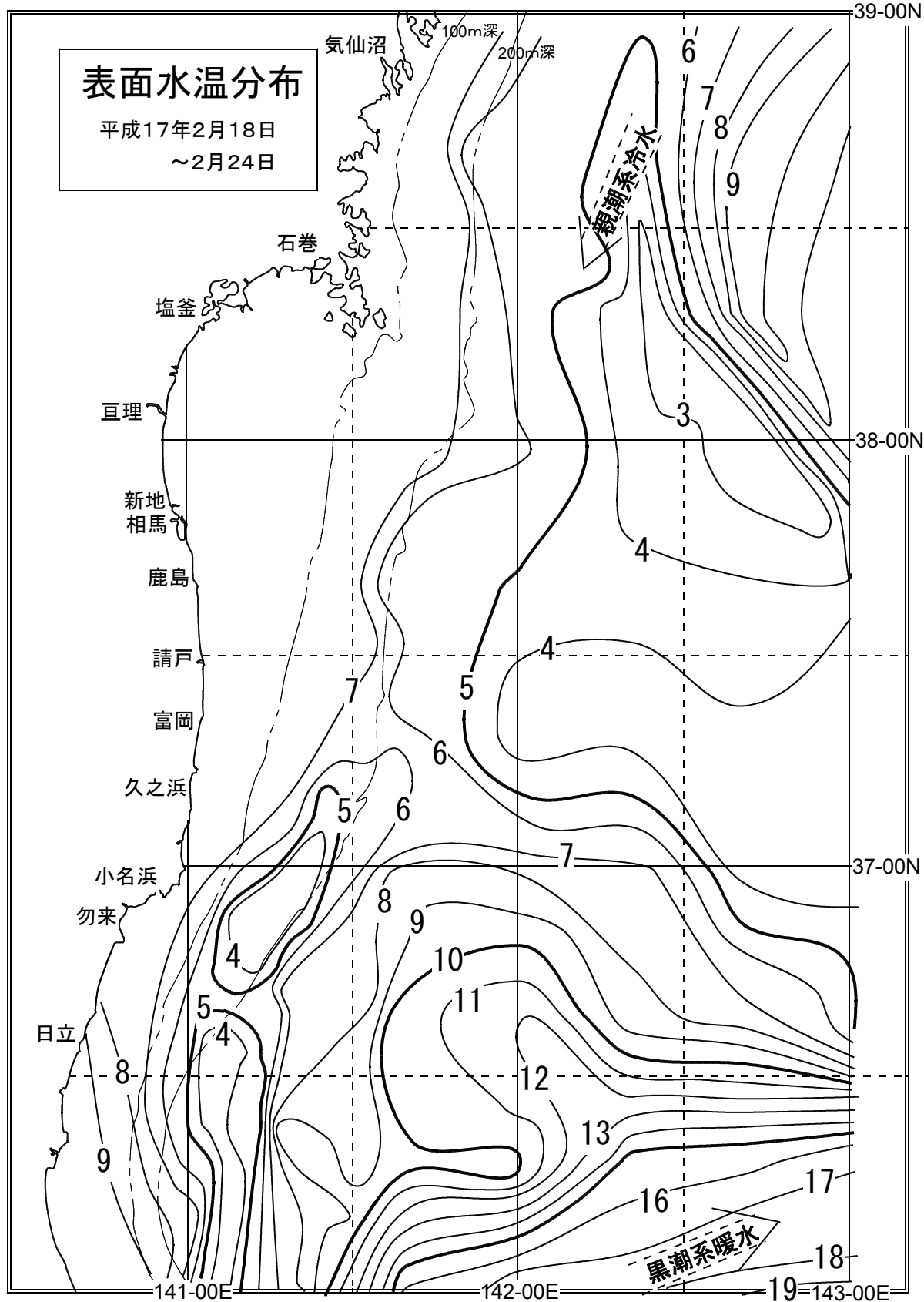
定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
2/18	7.4	7.9	6.7	6.7
2/21	7.5	7.7	6.5	4.5
2/22	7.6	7.8	5.8	6.0
2/23	7.5	7.3	6.4	6.5
2/24	7.8	7.3	6.3	6.6

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

表面水温分布

平成17年2月18日
~2月24日



漁海況速報

No.8

平成17年3月4日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

①親潮系冷水の勢力範囲は先週より狭まった。本県沖50海里付近には3℃台がみられる。

②黒潮系暖水の勢力は先週並み。

本県沖の水温は先週並みで、距岸45海里までは広く5~7℃台に覆われている。

③定地水温は、小名浜では平年より2℃低め、大熊は1℃低め、松川浦は平年並み。

見通し(1週間)

・親潮系冷水の断続的な波及がみられ、海況は大きく変動しつつ推移するでしょう

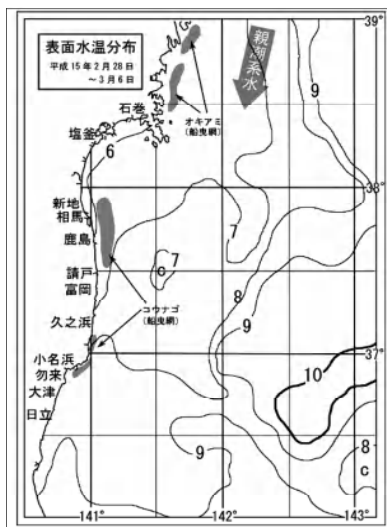
平成16年度東北海区海況予報第5号

・平成17年2月22日に独立行政法人水産総合研究センター北海道区水産研究所ならびに東北区水産研究所より発表となりました東北海区海況予報をお知らせいたします。

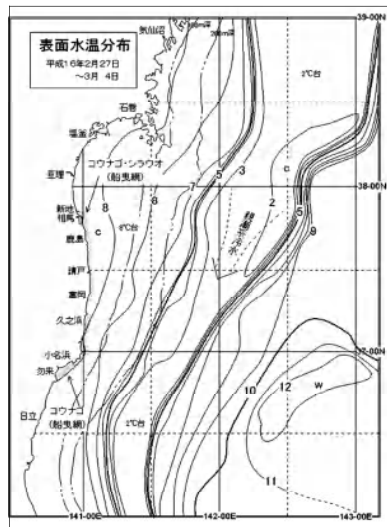
今後の見通し(2005年2~4月)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並(36°30'N~37°30'N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海でやや南偏で推移する。
- (3)三陸沖の暖水塊は北東方向へ移動する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、かなり南偏(37°Nまで)で推移する。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並~やや強勢(142°15'E付近まで)で推移する。

平成15年同期



平成16年同期



定地・定点水温の推移(℃)

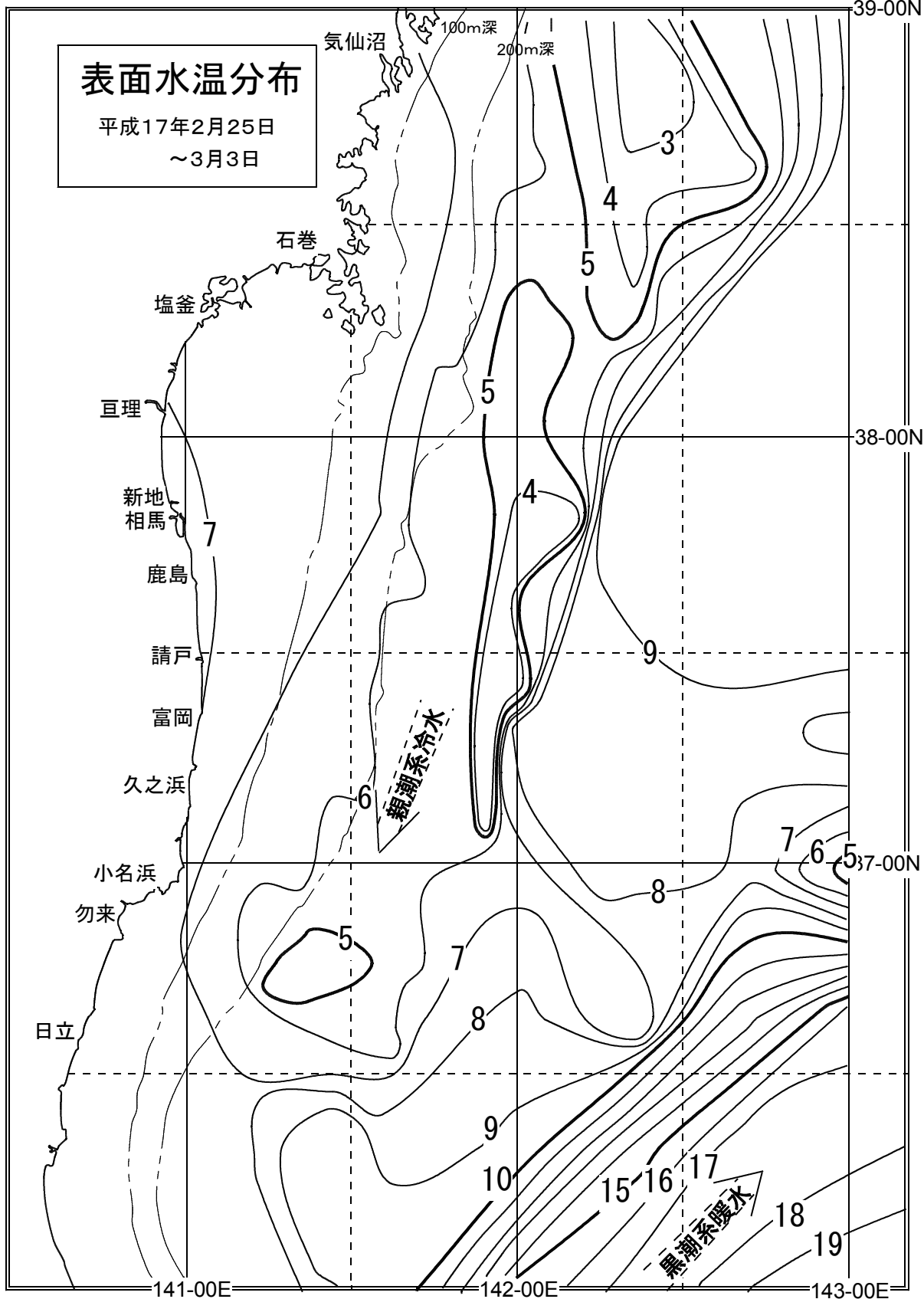
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
2/25	7.6	7.3	5.9	6.8
2/28	7.0	7.1	6.3	5.3
3/1	7.4	7.0	6.1	6.3
3/2	6.9	7.3	5.9	6.1
3/3	7.2	7.6	6.5	6.6

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成17年2月25日

～3月3日



漁海況速報

No.9

平成17年3月11日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

①親潮系冷水の勢力は先週より強まり、本県沖距岸30海里付近には3℃台がみられる。

②黒潮系暖水の勢力は前週並みで弱い。
本県沖距岸25海里までは広く6℃台に覆われている。

③定地水温は、小名浜では平年より2℃、大熊・松川浦では2℃低い。

見通し(1週間)

・親潮系冷水の波及がみられ、表面では降温が進むでしょう。

平成17年3月海洋観測結果

・2月28日～3月2日にいわき丸で行ないました海洋観測結果をお知らせします。

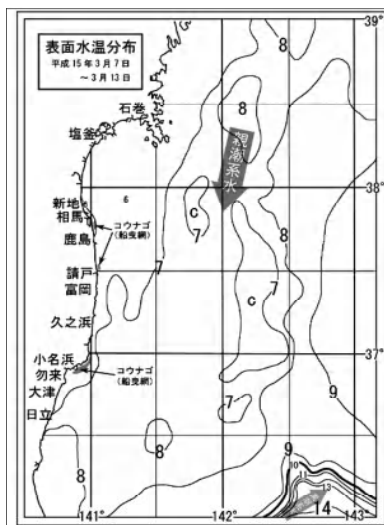
・観測された水温の定線ごとの平均値と前年差、平年差は以下のとおりです。

(単位:℃)		観測値	前年差	平年差
表面	塩屋	6.47	+0.59	-3.34
	富岡	5.91	-0.01	-2.44
	鵜ノ尾	6.33	-0.07	-1.01
100m深	塩屋	5.49	+2.23	-2.95
	富岡	4.80	+0.66	-2.85
	鵜ノ尾	5.18	+0.71	-2.16

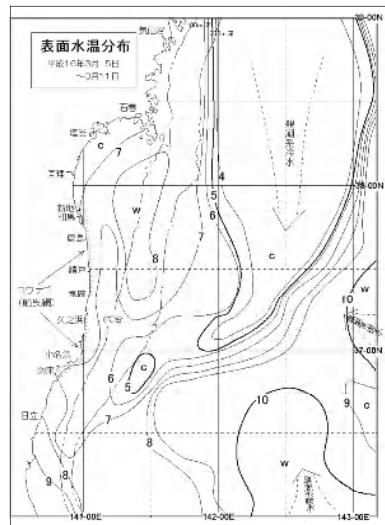
(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

・親潮系冷水の波及が本県沖距岸40～50海里付近にみられ、その付近では水温は平年より低め～極めて低めとなっております。距岸30海里より灘側は鉛直混合の進んだ単調な水塊分布となっており、平年並み～やや低めの水温でした。

平成15年同期



平成16年同期



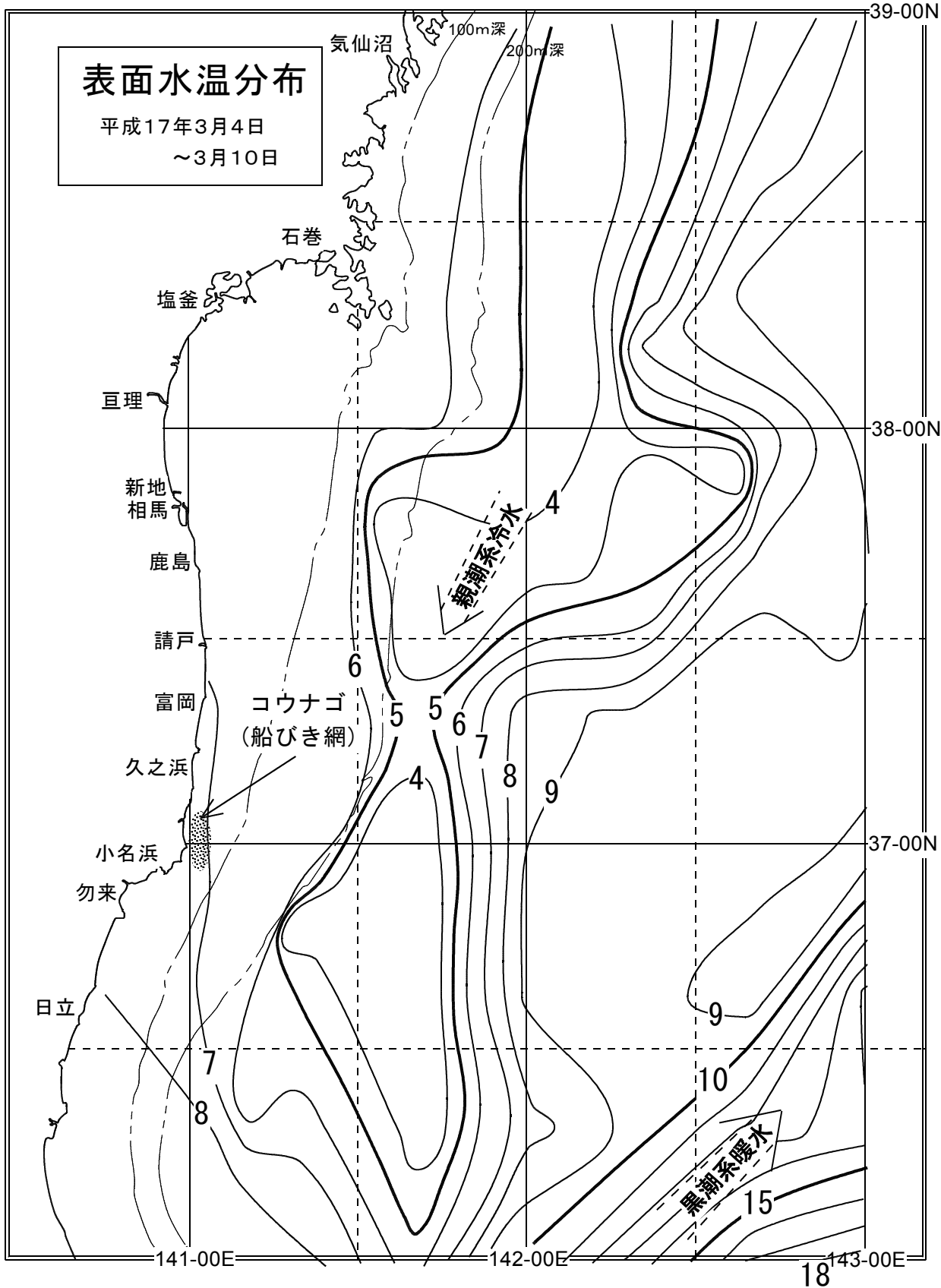
定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
3/4	7.3	6.8	5.5	6.5
3/7	6.7	6.9	6.1	6.0
3/8	7.1	7.0	6.3	6.4
3/9	7.5	7.3	6.6	6.3
3/10	7.4	7.4	6.3	6.4

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km沖)

表面水温分布

平成17年3月4日
～3月10日



漁海況速報

No.10

平成17年3月18日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の勢力は先週よりは弱まった。本県南部海域の距岸30~40海里付近に3~4℃台がみられる。
- ②茨城県沖の灘側に暖水舌がみられるが、本県海域への黒潮系暖水の波及はみられない。
- ③定地水温は、小名浜では平年より2℃、大熊・松川浦では1℃低い。

見通し(1週間)

- ・親潮系冷水の波及は継続し、現状並みの海況で推移するでしょう。

漁況情報(コウナゴ)

- ・いわきでは2月下旬から、相双では3月から始まったコウナゴ漁についてお知らせします。
- ・いわき地区では、3月1日以降も漁獲量はまとまらず、振るわない漁が続いています。3月16日以降、やや上向きつつありますが、魚体は25mm以下と昨年よりも小さい状態が続いています。
- ・相双地区では、3月15日までは魚体が20mm以下と小さいことから出漁した船はほとんどありませんでした。3月16日以降、出漁する船が増えてきていますが、漁獲量はまだ少ないようです。
- ・いずれの地区も、本格的な漁になるのはこれからです。

表 3月1~10日の地区別コウナゴ漁獲量

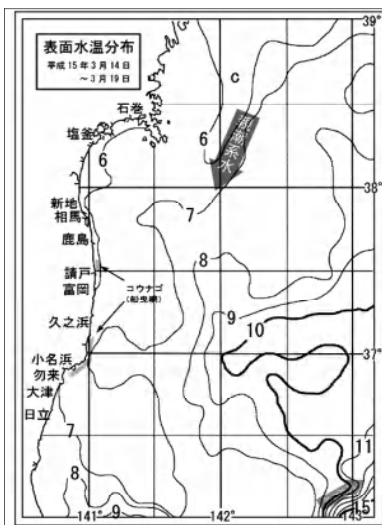
	平成17年		前年同期	
	いわき	相双	いわき	相双
漁獲量(kg)	1,649	0	11,842	42,990
単価(円/kg)	592	—	598	354

定地・定点水温の推移(℃)

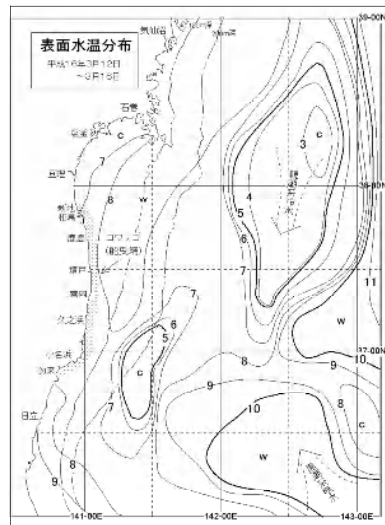
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
3/11	7.5	7.5	6.9	3.2
3/14	7.0	7.1	5.8	4.1
3/15	7.1	7.5	6.2	4.8
3/16	7.3	7.4	7.0	6.2
3/17	7.8	8.3	6.9	5.8

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

平成15年同期



平成16年同期



表面水温分布

平成17年3月11日
~3月17日

